

資料②

事業報告書

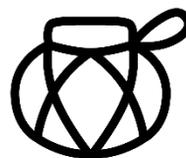
TAKETOMIJIMA

REGIONAL

2023年度

FOUNDATION

ANNUAL REPORT



一般財団法人
竹富島地域
自然資産財団

2023



目次

ご挨拶	P 03
竹富島	P 04
決算概要	P 05～06
入域料収受実績	P 07
島内賛同事業所一覧	P 08
取り組み経緯	P 09～11
活動報告（地域計画概要）	P 12
（御嶽の森の植生調査）	P 13
（ゴミ問題の解決①）	P 14
（ゴミ問題の解決②）	P 15
（海浜清掃）	P 16
（島の現状活動のPR①）	P 17
（島の現状活動のPR②）	P 18
（島の現状活動のPR③）	P 19
（島の現状活動のPR④）	P 20
（その他）	P 21～22
広報事業	P 23～28
組織概要	P 29
寄付のお願い	P 30

Greeting

ご挨拶

2023年度の一般財団法人竹富島地域自然資産財団年次報告書発刊にあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

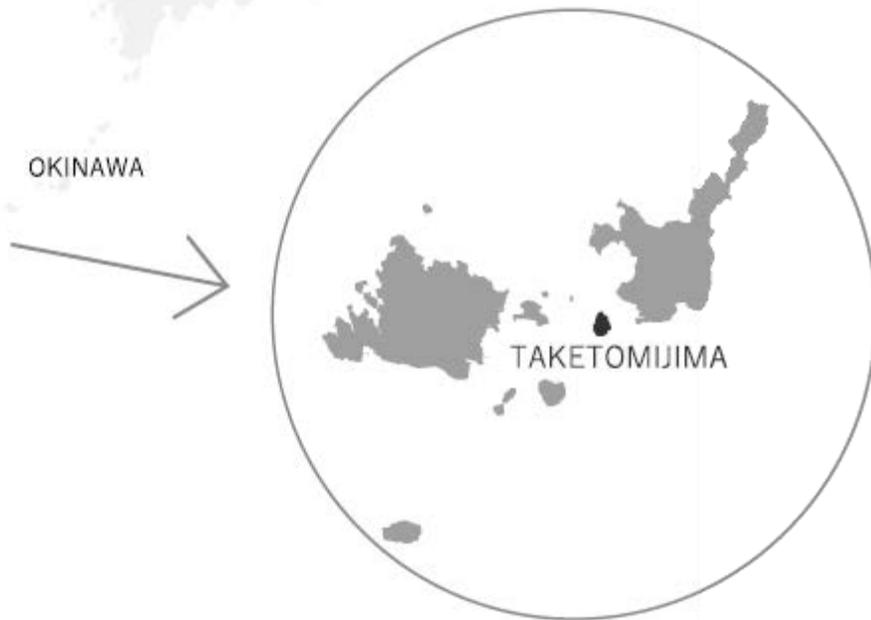
昨年は世界各地での紛争により世界経済が大きく揺れた1年でした。一方で新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、さまざまな制約が解け、日常生活が戻ってきました。同時に人流も回復し、訪日外国人観光客もコロナ禍前の状況に戻りつつありますが、さまざまな課題が顕在化してきました。全国的にもそうですが、竹富島で抱える大きな課題として「人手不足」があります。島内にある多くの事業所で従業員不足が叫ばれており、入域観光客数とのバランスが取れていない状況が続いております。しかし、日本の生産年齢人口は、減少の一途をたどっており、将来的にはより厳しい状況になるという認識のもと、業務の効率化や省人化、省力化の徹底、若者が働きやすい環境の整備等が必要となっています。

当財団におきましても、様々な環境の変化をチャンスととらえ、自然環境保全事業や自然環境トラスト活動を持続的かつ継続的に高めていき、より魅力的な島づくりを行ってまいります。引き続き、ご理解ご協力を賜わりますよう、よろしくお願い申し上げます。

一般財団法人竹富島地域自然資産財団

理事長 上勢頭 篤

Taketomijima



竹富島

竹富島は、東京から南西に約2000キロ、沖縄本島からも約400キロ離れた場所にある周囲9.2km、人口わずか360名程度の小さな島です。沖縄の原風景が色濃く残る集落に美しいビーチを求めて年間約50万人もの観光客が訪れており、島では近年、オーバーツーリズムや観光開発など多くの問題に頭を悩ませています。そこで私たちは、これらの問題の解決に望むべく、2019年5月一般財団法人 竹富島地域自然資産財団を立ち上げました。当財団では来島者から入域料を募ることで島の保全活動や財団運営を行っています。

Financial Report

決算概要

貸借対照表

令和6年3月31日現在

科 目	当年度		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	13,671,102		
未収金	459,900		
仮払金	797		
流動資産合計			14,131,799
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	3,000,000		
基本財産合計		3,000,000	
(2) 特定資産			
トラス事業資産	6,519,720		
特定資産合計		6,519,720	
(3) その他固定資産			
什器備品	27,620		
機械装置	1,145,172	0	
その他固定資産合計		1,172,792	
固定資産合計			10,692,512
資産合計			24,824,311
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	31,712		
前受金	300,000		
預り金	45,002		
未払費用	342,600		
未払法人税等	152,300		
流動負債合計		871,614	
負債合計			871,614
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
拠出金	3,000,000		
寄付金	1,638,000		
指定正味財産合計		4,638,000	
(うち、基本財産への充当額)		(3,000,000)	
(うち、特定資産への充当額)		(1,638,000)	
2 一般正味財産		19,314,697	
(うち、特定資産への充当額)		(4,881,720)	
正味財産合計			23,952,697
負債及び正味財産合計			24,824,311

Financial Report

正味財産増減計算書

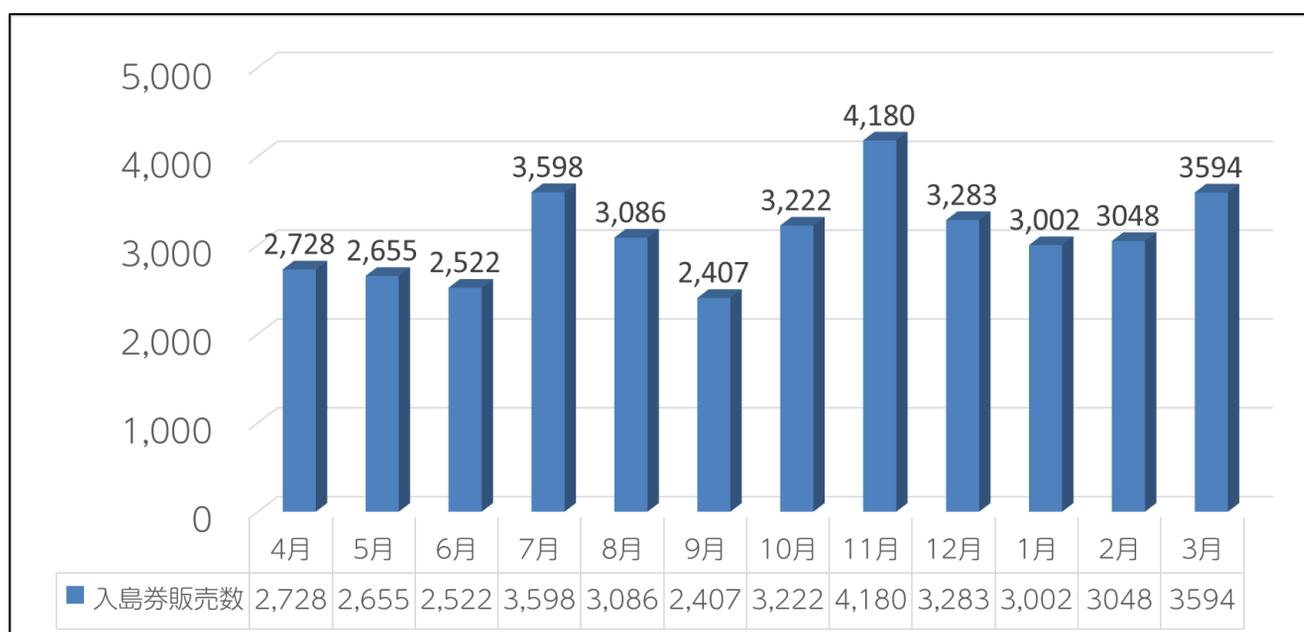
令和6年3月31日現在

科目	公益事業	収益事業	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
入島料収入	11,346,600		11,346,600
受取補助金等	704,000		704,000
その他収入	129,000	1,754,936	1,883,936
受取寄付金	157,819		157,819
一般寄付金	157,819		157,819
雑収益	4,133	2	4,135
受取利息	133	2	135
雑収益	4,000		4,000
経常収益計	12,341,552	1,754,938	14,096,490
(2) 経常費用			0
事業費	4,433,727	723,262	5,156,989
臨時雇賃金	178,740	189,720	368,460
旅費交通費	95,740	3,340	99,080
通信運搬費	25,832	700	26,532
消耗什器備品費	281,589	173,430	455,019
消耗品費	261,118	39,494	300,612
広告宣伝費	680,117	68,000	748,117
燃料費	19,992	708	20,700
光熱水料費	13,154	32,424	45,578
賃借料	1,277,680		1,277,680
保険料	203,573	28,287	231,860
支払寄附金	300,000		300,000
租税公課	7,400		7,400
委託費	261,200	112,274	373,474
支払手数料	393,872	14,661	408,533
事務用品費	34,311	1,706	36,017
減価償却費	347,259	48,252	395,511
雑費	52,150	10,266	62,416
管理費	4,638,353	643,672	5,282,025
役員報酬	1,804,290	250,710	2,055,000
給料手当	1,685,760	234,240	1,920,000
諸謝金	91,400	12,700	104,100
法定福利費	2,721	378	3,099
会議費	6,021		6,021
旅費交通費	156,231	21,709	177,940
通信運搬費	132,772	18,449	151,221
消耗品費	163,396	22,704	186,100
広告宣伝費	13,379	1,859	15,238
光熱水料費	64,904	9,018	73,922
賃借料	36,876	5,124	42,000
事務用品費	113,849	15,820	129,669
租税公課	4,478	622	5,100
支払手数料	357,886	49,729	407,615
雑費	4,390	610	5,000
経常費用計	9,072,080	1,366,934	10,439,014
当期経常増減額	3,269,472	388,004	3,657,476
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,269,472	388,004	3,657,476
法人税等		152,300	152,300
一般正味財産増減額	3,269,472	235,704	3,505,176
一般正味財産期首残高	15,809,521	0	15,809,521
一般正味財産期末残高	19,078,993	235,704	19,314,697
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
拠出金	0	0	0
トラスト寄付金等	265,000	0	265,000
当期指定正味財産増減額	265,000	0	265,000
指定正味財産期首残高	4,373,000	0	4,373,000
指定正味財産期末残高	4,638,000	0	4,638,000
III 正味財産期末残高	23,716,993	235,704	23,952,697

Financial Report

入域料收受実績

	入域観光客 (名)	入域料 (円)	支払数 (回)	収受率 (%)	備考
4月	38,244	818,400	2,728	7.1	
5月	33,426	796,500	2,655	7.9	新型コロナウイルス5類に移行
6月	29,839	756,600	2,522	8.5	
7月	34,801	1,079,400	3,598	10.3	
8月	33,260	925,800	3,086	9.3	
9月	28,839	722,100	2,907	8.3	
10月	36,950	966,600	3,222	8.7	丸ハレンタサイクルでガチャ開始 (主に修学旅行生を対象とする)
11月	31,823	1,254,000	4,180	13.1	
12月	25,456	984,900	3,283	12.9	
1月	24,746	900,600	3,002	12.1	
2月	31,227	914,400	3,048	9.7	
3月	40,509	1,078,200	3,594	8.8	



財団の活動は、入域料や寄付を頂いた方々に支えられています。
また、入域料の収受は島内企業や団体のご協力により行われています。
皆様の温かいご支援に対し、心から厚く感謝と御礼を申し上げます。

入島券販売取扱事業所一覧

2024.03.31.現在

民宿 泉屋	民宿 内盛荘	民宿 大浜荘	手作り工房 KUMA	アトリエ 五香屋
NPOたきどうん	民宿 小浜荘	高那旅館	茶屋たかにゃ	Bar 月灯り
新田観光	民宿 新田荘	星のや竹富島	アイランド	友利レンタサイクル

島内賛同事業所一覧

2024.03.31.現在

民宿 泉屋	民宿 内盛荘	民宿 大浜荘	手作り工房 KUMA	アトリエ 五香屋
民宿 小浜荘	高那旅館	茶屋たかにゃ	Bar 月灯り	新田観光
民宿 新田荘	(有) 竹富島交通	喜宝院蒐集館	NPOたきどうん	丸ハレンタサイクル
レンタサイクル竹富	ぼちサイクル	嶺本レンタサイクル	南西観光株式会社	内盛商店
海風～シューカジ～	若竹丸	やど家 たけの子	たきどうん	イナフク
とも倉	縄文や	アイランド	まうていや	竹富民芸館
民芸喫茶マキ	たるりや	そば処 竹の子	食事処 やらぼ	ガーデンあさひ
ひまわり	やまもり食堂	民宿 マキ荘	民宿 松竹荘	パーラターミ
民宿 なかもり荘	Cago			
一日一組の宿 すかぶら	染織工房 Boo-House	HIMAWARI WORKS (株)	HaaYa nagomi-café	

※島内賛同事業所とは説明会等に参加して賛同書を頂けた事業所を指す

寄付者一覧

2024.03.31.現在

シミズ コウジ 様	タケトミジマコウツウ 様	デザインワークエール 様	
-----------	--------------	--------------	--

物品寄付者一覧

2024.03.31.現在

タナカ アイコ 様	ウチモリ アサカ 様	シマナカ ユミコ 様	オオヤマ ミツコ 様
オオヤマ エイイチ 様	トミモト マモル 様	イノマタ ヒトミ 様	サカイ マサユキ 様
ウチモリ ヨシエ 様	コイケ ユキナ 様	Kotokoto 下田 様	NECクリエイティブパーク 様
オオハマ シンイチロウ様	ミスノ カゲユキ 様		

Activities Results

当財団の活動は「地域自然資産法」に基づき竹富町が作成した「竹富島地域自然資産地域計画」に沿って行われています。

2023年度取り組み経緯

月	日	会議・周知広報	保全活動
4月	5日		水生生物調査（西棧橋北）
	13日	環境省石垣島サンゴ検討会	
	18日	地域計画改定会議	
	21日		水生生物調査（西棧橋北）
	25日	地域計画改定会議	
	26日	環境省沖縄奄美環境事務所環境対策課ヒアリング	海洋漂着ゴミの回収（アイヤル、キトッチ、ホーシ）
	27日	NHK取材打合せ	
	28日	NHKクローズアップ現代取材対応	
5月	24日	監査	
	25日		ビーチクリーン（星のや共同）
6月	13日	サニーサイドアップ来訪	
	16日	旧与那国家住宅企画展示打合せ	
	27日	竹富町地域おこし協力隊採用面接	減容ペットボトルの出荷作業
7月	5日		ビーチクリーン（星のや共同）
	15日	東京海洋大学パートナーシップ協定締結式	フクギ回りの除草
	26日	評議員会	
	31日	町長へ運営協議会要請文提出	
8月	8日	浮島ガーデン来訪	
	10日	第10回竹富島地域自然資産運営協議会	
	14日		海洋漂着ごみ輸送
	16日	牧田遥香地域おこし協力隊 着任	
	17日		奈良大学大和ゼミ学習受入（文化講座/ビーチクリーン）

Activities Results

月	日	会議・周知広報	保全活動
8月	23日	御嶽の森ヒアリング準備会	
	24日		港回収ゴミ観光事業者協同分別作業
9月	1日	キエーロプロジェクト会議	
	2日		フクギ周りの除草作業 藍の収穫作業
	4日		藍の収穫作業
	8日	琉球弧SUMMIT” 0” 1日目	
	9日	琉球弧SUMMIT” 0” 2日目	
	11日	旧与那国家住宅絵本展示準備会	
	14日		港回収ゴミ観光事業者協同分別作業
	15日		海洋漂着ゴミ輸送
	16日		沖縄まるごとゴミ拾いin竹富島
	19日	NEC周遊プロジェクト準備会	
	20日		キエーロプロジェクト実験開始
	25日		ビーチクリーン（星のや共同）
	10月	6日	
7日			御嶽の森調査
10日		エシカルツアー旧与那国家住宅学習対応	
13日			竹富島キエーロプロジェクト講座
19日		御嶽の森管理に関する意見交換会	
23日			アイヤル浜漂着ゴミ回収
27日		沖縄まるごとゴミ拾い 新聞取材対応	
11月	1日	地域計画策定協議会 NEC周遊プロジェクト 開始	
	6日	NEC周遊プロジェクト準備会	
	7日	星のやパートナーシップ定例会議	
	20日		ビーチクリーン（星のや共同）
	25日		石垣島トラベルセンターツアー対応
12月	2日	やいまSDGsシンポジウムブース出店	
	5日		石垣島トラベルセンターツアー対応

Activities Results

月	日	会議・周知広報	保全活動
12月	8日		竹富島キエーロプロジェクト発表会
	12日	NEC周遊プロジェクト準備会	
	13日	観光感謝の集いブース出店 NEC入島証明書カード筐体ゆがふ館設置	
	15日		アイヤル浜漂着ゴミ回収
	26日	旧与那国家住宅「星砂の話」展開始	
1月	8日	「星砂の話」展 ワークショップ	
	16日		ナーラサ,キトッチ浜漂着ゴミ回収
	23日	竹富島方言ステッカーリニューアル 財団理事会	
	27日	財団パンフレット石垣港設置	
	28日	自治労沖縄県本部竹富島フィールドワーク 地域おこし協力隊募集開始	

竹富島地域自然資産地域計画概要

目的

1. 亜熱帯の自然と島民の暮らしが育んだ竹富島の貴重な生態系と農村集落景観を保全・再生します。
2. 目的1を達成するための調査研究、技術の継承、人材育成を推進するとともに、必要な協力体制と財源を確保します。

事業内容

- ①生態系と農村集落景観の保全・再生事業
 - ◆島民の暮らしによる自然利用（生活、農業、文化等）の継承・復活事業
 - ◇植生維持・再生
 - ◇耕作地再生
 - ◇水辺再生
 - ◇景観維持・美化
 - ◇海域再利用
 - ◇自主利用ルール制定・実施
 - ◆外来生物駆除・島の暮らしと関わりの深い植物の植栽による生態系再生事業
 - ◇外来生物駆除
 - ◇植生再生
- ②調査研究、技術継承・人材育成、協力体制構築事業
 - ◆調査研究、モニタリング事業
 - ◇陸域生態系の調査研究
 - ◇海域・海岸生態系の調査研究
 - ◇島材の利活用方法の調査研究
 - ◇地域自然環境保全等事業の効果検証
 - ◆技術継承・担い手育成事業
 - ◇自然環境保全活動技術継承・リーダー育成
 - ◇島材活用技術継承・リーダー育成
 - ◇島の自然と文化伝承者育成
 - ◆周知・広報事業
 - ◇広報誌発行
 - ◇ホームページによる周知・広報
 - ◇注意・案内板の設置
 - ◇協力要請・島内案内ポスター・チラシ等の発行

島民の暮らしによる自然利用 (生活、農業、文化等)の継承・復活事業

植生維持・再生

御嶽の森の植生調査

目的：環境変化や経年劣化。行政サポートや住民意識の低下により御嶽の森や防風林の植林が減少しているため、データの取得及び管理など、島民だけでなく専門家も交えながら長期的に意味のある指標を見出す。

活動：今年度初の試みとして、琉球大学の陳先生を講師に迎え、六山を中心とした全9つの御嶽の植生を調査しました。木々の太さや高さといった測量分析、日当たりや風通しなどを含めた空間としての管理が適切かどうか、シロアリのように植物にとって悪影響な要素があるかどうかなど、いくつかの項目を重点的に調査し、その後、各御嶽の氏子や神司でそれぞれの御嶽の状態を把握するための意見交換会を行いました。



Action

景観維持・美化

ゴミ問題の解決①

目的：竹富島ではゴミ処理施設の対応能力オーバーという問題から、ほとんどゴミ箱の設置がない。これまで来島者の方々へはゴミの持ち帰りを推奨していたが、ポイ捨てが散見される上、ゴミを拾った方が捨てる場所もないという問題点もありその解消のためゴミ箱の設置と環境保全の啓蒙を行う。

活動：家庭内で出たペットボトルの蓋を回収するためまちなみ館と各支会の会館に回収箱を設置し、非食品用のポリ袋にアップサイクルするプロジェクトを引き続き行っています。また、財団で設置している港ゴミ箱の分別作業は財団関係者だけでは手が足りず、各観光事業所に声をかけ、観光客が増加する夏場を中心に、一緒に分別作業を実施しました。



2023年度 財団港ゴミ箱 総分別数
(2023年4月～2024年1月)

・ ペットボトル	657袋
・ 紙類	78袋
・ ビニール	202袋
・ カン	89袋
・ ビン	13袋
★総合計	1039袋

総作業時間： 114時間30分

ゴミ問題の解決②

目的：観光ゴミとは別に、家庭ゴミについて最も大きな問題である生ごみ処理についての解決策を提案する。町役場が設置しているコンポストが機能していない点も踏まえ、竹富島に合う形で生ごみの処理方法を定着させる。

活動：町助成金のプロジェクトの一環として「竹富島キエーロプロジェクト」を実施しました。婦人会の方を中心に協力いただき2か月弱のモニター期間を経て、実際に使用した感想や現状共有を行うための報告会を実施しました。キエーロを使用したことで以前よりも生ごみ処理が楽になったというお声をいただくことができ、まだキエーロを使用していない方からも設置依頼をいただくなど、プロジェクトを順調に進めることができました。今後も継続的にサポートを続けながら、竹富島に合う生ごみ処理の在り方を模索していきます。



Action

景観維持・美化

海浜清掃

目的：竹富島は3つの集落に分かれている。それぞれの集落が担当する海浜エリアがあり、定期的な清掃作業を行っているが、間に合わないほどの海洋漂着ゴミが流れついている。景観だけでなく生物や環境への負荷を軽減するためにも海浜清掃を行う。

活動：今年度は隔月で星のや竹富島とビーチクリーンを実施しました。また、石垣島トラベルセンターからの依頼で“島の自然環境を考えるエシカルツアー”と題したツアーの一環で参加者の皆さんとビーチクリーンとペットボトルキャップで作る海亀ストラップの制作ワークショップを行いました。ツアー後、環境保全に対する意識が高まったというお声を多くいただきました。加えて一昨年度よりビーチ付近に設置している海洋ごみステーションにも非常に多くの海洋ゴミが収集されるようになり、来島者の自発的な海浜清掃が増加している傾向が見られました。



周知・広報事業

協力要請・島内案内ホ°スター・チラシ等の発行

島の現状活動のPR①

目的:財団の活動をより広く周知するため、島外でのリレーション構築及び広報活動を行う。

活動:昨年に引き続き、八重山でサステナブルな事業に挑戦しているユース世代・環境団体・エコツアー事業者・物販・飲食・農畜産業者など多様なメンバーが一堂に会し、地域を支える事業を次々に生み出し続けるプラットフォーム作りを目的としたイベント「やいまSDGsシンポジウム」に出展しました。また初めての試みとして東京、大阪、福岡など旅行会社26社78人が来島した2023年度八重山観光感謝のつどいにも参加し財団の活動PRを行いました。



Action

協力要請・島内案内ホ^スター・チラシ等の発行

島の現状活動のPR②

目的：来島者や島民が活動への理解を深められるよう、1つの手段にとらわれることなく、複数のツールを利用して入域料の収受を行う。

活動：今年度は、300円を入れると漂着ごみで作成された「海亀キーホルダー」や島野菜の種が入った「竹富島のタネ」が出てくる「竹富島入島料ガチャ」を、新たに丸ハレンタサイクルに設置しました。丸ハレンタサイクルは修学旅行者など団体利用が多いためガチャの前に列ができる姿も散見されました。

また、返礼品として利用している「竹富島方言ステッカー」のリニューアルや入域料の用途がわかるパンフレット作製、財団季刊紙の配布など観光客への財団の活動周知に力を入れています。



協力要請・島内案内ポスター・チラシ等の発行

島の現状活動のPR③

目的：主に来島者（観光客）に責任ある観光を理解してもらうため、島内やSNSだけでなく石垣の離島ターミナルや竹富町役場内においても周知活動を行う。

活動：これまで、財団HPやSNSでの発信、島内でのアナウンスを実施してきましたが、なかなか竹富島の暮らしや文化について理解を得られない状況が続いているのが事実です。そのため、今年度は離島ターミナルや竹富町役場内のデジタルサイネージを活用して、入域料協力への周知を行っています。一方で、入域料への興味関心を持ってくれる来島者も一定数は見えてきており、そうした方々に向けて、入域料の利用方法を紹介する財団のパンフレットを離島ターミナルに設置しました。



Action

ホームページによる周知・広報

島の現状活動のPR④

目的：定期的な更新でホームページを見たくなるような仕組みづくりを目指す。また日本語以外での多言語表記を行う。SNSを通して、スピード感のある財団の情報発信を行う。

活動：財団ホームページとSNS（Instagram・Facebook）では定期的な活動レポートの更新を行っています。ホームページでは、日々の活動の中でもメインになるような活動をピックアップして、定期的に更新を行っています。今年度は、これまで更新頻度が停滞していたSNSでの情報発信を注力的に行い、約100名の新規フォロワーを得ることが出来ました。SNSを通して、財団の活動に興味を示し問い合わせをくださる学校や企業も増えてきており、今後の活動の広がり期待しています。



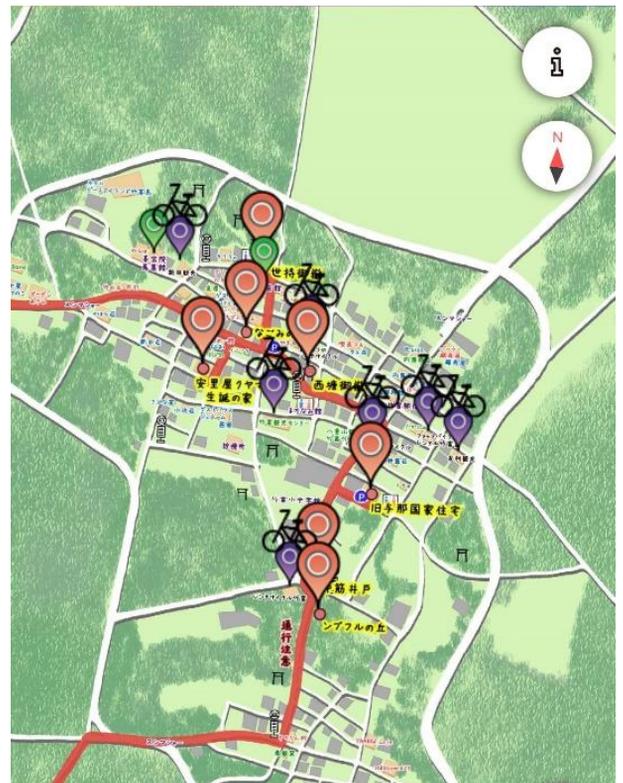
その他

NEC周遊カードプロジェクト

竹富島周遊プロジェクト

目的：竹富島の暮らしや文化・自然を理解してもらったうえで、入域料の周知及び収受率を向上させる

活動：11月1日より竹富島タッチカード周遊プロジェクトを開催しました。主催：竹富町役場・共催：NECソリューションイノベーター/財団で入島券を購入者に限定の「入島証明書」を配布し、カード裏のQRコードからLINE登録すると、観光ルール動画や現在地を確認できるイラストマップなどの限定コンテンツに参加してもらうことができるイベントです。さらにアンケートにご協力をいただいた方には、限定バッジをプレゼントしました。当初は石垣島離島ターミナルで2週間限定配布の予定でしたが好評につき、ゆがふ館にカードダスを設置し2月末までの期間に延長し実施しました。



重要文化財の管理

旧与那国家住宅の活用

目的：国の重要文化財である旧与那国家住宅の管理活用を行う

活動：日々の開閉館作業に加え、敷地清掃や入館料（300円／名）の管理、解説パネル、パンフレットの設置などを管理業務として行っています。また、昨年度に続き種子取祭前には小中学校の子どもたちに「イヤチ」作り教室の会場として活用してもらいました。さらに、今年度は旧与那国家住宅として初となる展示会「星砂の話」展の開催及び特別イベントを実施しました。イベントでは、絵本のアニメーションを上映し、子どもたちによる竹富島のことば「テドゥムニ」で朗読を行ったり、絵本に登場する星の子どもたちをイメージしたモビールを作るワークショップなども実施し、多くの方にご参加いただきました。



Public Relations

島内季刊紙（B4）

03 2023年入島料収受実績

2023年1月～の入島料収受実績は下記になります。観光客増加に伴い若干の回復傾向を窺っていますが、コロナ以前の水準には遠く及びず、収容率10%前後と大変厳しい収受実績となっております。今後とも観光拡大に向けたご協力をよろしくお願い致します。

入島券販売数

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売枚数	3,076	2,476	3,622	2,637	2,674	2,493	3,586	3,121	3,121

お知らせ
ペットボトルキャップの回収にご協力ください
ご来島時ご持参いただいたペットボトルキャップも集めるとご来島料の値上げに生まれ変わります

お知らせ
回収ボックスは下記の場所に設置しています。
観光案内所（観光センターホール） 主要な土産
あいのお土産 いんたの土産 岡山土産
ご来島時キャップの回収ボックスは設置をお願いします。

一般財団法人 竹富島地域自然資源財団
〒962-1101 津富島八重野町新町中津屋207-1
TEL: 019-850-45-2900 FAX: 019-850-45-2901
MAIL: info@islandom.com, isd@islandom.com

てーどろん JOURNAL

2023, Sep. Vol.14.

竹富島では、そんなに遠くない昔、あまり便利とは言えないけれど、自然体で暮らせる心安かな時代がありました。

私たちは入島料で、島がいつの間にか失ってしまったもの、忘れてしまったものを取り戻すべく活動を始めてまいります。

（2023.9月発行）

03 あいさつ

お会いしたことが協働力と、農耕時代はリフトボールも難技とばかりで、すでに多くの方にも行っているように感じました。こ

03 古材の回収

石屋敷で古材回収の活動を行いました。近年、古い家の解体の際にまた使える古瓦や木材などがあるにも関わらず、一度で産業廃棄物として処理されてしまうケースが多くなっています。そんな中、石屋敷にある地味家屋の古瓦（きゅうまわ）を解体するという依頼が町内に入り「解体される前に」と意識で集めてきました。竹富島の大工さんにも参加していただき、一つづつ確認しながら再利用可能な瓦などの回収作業を行いました。回収した古材は石屋敷から竹富島へ貸物倉で送り島内の保管場所まで搬送しています。今後は希望者を募り、活用に向けての作業を進めています。

04 奈良県立大学 フィールドワーク

お集まりいただき、島ぐるみのアツ、お家来住宅で開きました。長が1978年と99年に竹富島10年7回の観光方法などの調査結果と考察を行いました。また院生の玉木さん（奈良県立大学）は雑誌の雑誌掲載に取りこんでおり、読者の方から頂いた小賞（ギフト券）を御礼に感謝しております。その研究成果の報告を行いました。

05 港ゴミの分別

港に設置したゴミの分別作業を島内事業所の前でも実施しました。1時間という限られた時間でしたが、ペットボトルゴミのみならず、山をつくり、なんと合計58袋になりました。分別作業にご協力いただいた皆さまありがとうございます。

03 2023年入島料収受実績

2023年1月～の入島料収受実績は下記になります。観光客増加に伴い若干の回復傾向を窺っていますが、コロナ以前の水準には遠く及びず、収容率10%前後と大変厳しい収受実績となっております。今後とも観光拡大に向けたご協力をよろしくお願い致します。

入島券販売数

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売枚数	3,076	2,476	3,622	2,637	2,674	2,493	3,586	3,121	3,121	3,121	3,121	3,121

お知らせ
入島料の支払い品である「てーどろん」がリニューアルしました。今回は島で見ることのできる生物をイラストにして作成しました。選りよめはぜひぜひご覧ください。

一般財団法人 竹富島地域自然資源財団
〒962-1101 津富島八重野町新町中津屋207-1
TEL: 019-850-45-2900 FAX: 019-850-45-2901
MAIL: info@islandom.com, isd@islandom.com

てーどろん JOURNAL

2023, Feb. Vol.13.

竹富島では、そんなに遠くない昔、あまり便利とは言えないけれど、自然体で暮らせる心安かな時代がありました。

私たちは入島料で、島がいつの間にか失ってしまったもの、忘れてしまったものを取り戻すべく活動を始めてまいります。

（2024.2月発行）

03 2023年港ゴミの分別量

港に設置したゴミの分別2023年ゴミ分別量下のグラフになります。注目すべきは今年で出たペットボトルゴミの量。合計152袋で前年比46.0%増のペットボトルゴミの量が増え続けています。今年でもお知らせしましたが島内事業所の前でもゴミの分別作業を行っております。実施日は1月等でお知らせしますので引き続きご協力をお願いいたします。

04 「星砂の話」展 特別イベント

旧町家国家住宅で「星砂の話」展を開催しました。1月には特別イベントを実施し、多くの方にご参加いただき絵本のアニメーション上映や絵本に登場する星砂の作り方をイメージした子ども工作ワークショップなどを実施しました。

05 星のや竹富島共同イベント

11月星のや竹富島共同イベントを実施しました。今回はコンフォートと海浜清掃作業を行いました。参加者と島のや竹富島だけでなく、子どもたちも参加してくれ、学びと交流を深めることができました。

Public Relations

入域料説明用パンフレット（巻三折りCDジャケットサイズ）

うつぐみチケット

うつぐみチケット（入域料）は石垣港のターミナルか竹富港のかりゆし館の券売機にてご購入いただけます。『入域料』のゾリが目印です。まずは画面にタッチ！「うつぐみチケット」を手に入れたら是非かりゆし館のカウンターにお越しください。竹富島方言スワカシーや島のおぼあが手作りした草玩具（数珠限定）など記念品をプレゼントしています。



石垣港と竹富港に設置された券売機

送礼品として記念品や草玩具（数珠限定）をプレゼント

トラスト活動

近年、竹富島ではリゾート開発問題に頭を悩ませています。住民の同意を得ずに開発を行うと、島外企業や不在地主が持っている土地を阻っています。そこで、皆さまから頂く入域料の1/3以下をトラスト活動（土地の買い戻し）に活用させていただきます。



入域料の内訳
トラスト活動
1/3
2/3
・記念活動
・別当運営費

住所 〒807-1101 沖縄県八重山郡竹富町竹富207-1

理番長 上勢 謙

TEL 0980-85-2800

FAX 0980-85-2801

MAIL info@takeomijima.okinawa

<https://takeomijima.okinawa/>

竹富島財団



入域料でなにをするの？

UTSUGUMI GUIDE



竹富島財団

表面

懐かしい未来をつくる

竹富島の人々は島の自然に寄り添いながら生活しています。島の代名詞になっている沖縄の伝統的な町並みは自然と人々の暮らしとの調和において培われてきました。祖先より受け継ぎ育んできた自然や祭事、伝統工芸や町並みを10年後、20年後…100年後と残していくべく入域料のご協力をお願いしております。



竹富島財団の活動(例)

あふれかえる「観光客のゴミ」

竹富島財団ではゴミの回収・捨て場をばいりめとする問題解決のため、竹富島にゴミ箱を設置しています。ゴミは毎日回収し、週に一度島の別荘事業場へ車をかけ、分別作業をしています。夏休みなど観光客が増えることで1ヶ月で1,000本を超えるペットボトルが捨てられており島内のゴミ処理施設でも処理が追いついていない状態です。



幸運を呼ぶ海亀にアツサイクル

島内で多く出るゴミの1つにペットボトルキャップがあります。そこで財団では島内に複数の回収場所を駆け各家庭から出るキャップを集めて圧縮成形し、幸運を運ぶ「島の守り神」海亀のキーホルダーを作成しています。この海亀のキーホルダーは入域料の送料品として財団のショップで販売されています。入域料がチャチャに入っています。



竹富の海をより美しく

竹富島財団では企業団体や大学などのフィールドツアー、修学旅行の一環として竹富島のきれいな海で海洋学習とビーチクリーンを実施しています。環境教育のツアーを実施しています。



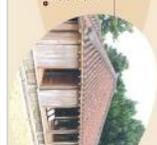
竹富島の聖域を守る

竹富島でも神聖な場所である御嶽。その御嶽を守るために近年、韓国や外国の影響を受けています。そこで財団では健全な御嶽を守り、100年後につながる長期的な保全活動を行っています。



最西端の重要文化財建造物

竹富島の東海岸に位置する「旧手取家住宅」は沖縄の伝統的な石垣取りを良好に保ちており竹富島が1987年に指定された伝統的建造物群保存地区の棟となる住宅で当財団で管理をしています。



竹富島の海をより美しく

竹富島財団では企業団体や大学などのフィールドツアー、修学旅行の一環として竹富島のきれいな海で海洋学習とビーチクリーンを実施しています。環境教育のツアーを実施しています。



中間

24

ANNUAL REPORT 2023

Public Relations

竹富島キエーロプロジェクトポスター/カレンダー



NEC竹富島周遊イベントポスター/入島証明書



Public Relations

「星砂の話」展ポスター/フライヤー



地域おこし協力隊募集すごろく

○ 日々の基本のお仕事

- 自然環境保全活動
竹富島地域自然資産地域計画に基づいた環境保全活動を進めています。
- 自然環境トラスト活動の実施
自然生態系と農村集落景観を損なう土地開発を防ぐためトラスト活動を進めています。
- 事務作業
入札料収受に関する業務 / 各種機関との連絡調整 / 運営に係る事務局業務 / 広報業務
- その他 (旧与那国家住宅の管理・祭行事などの運営サポートなど)

財団の活動内容等
詳細は公式HPを
ご覧ください

START
地域おこし協力隊
として竹富島での
生活がスタート!

- 竹富町役場にて
地域おこし協力隊
辞令交付式
- 竹富島財団で
協力隊としての
業務開始
- 毎月15日に
開催される
月例会に出席
自己紹介
- 作物の生長を
祈願する祭
「四月大願い」

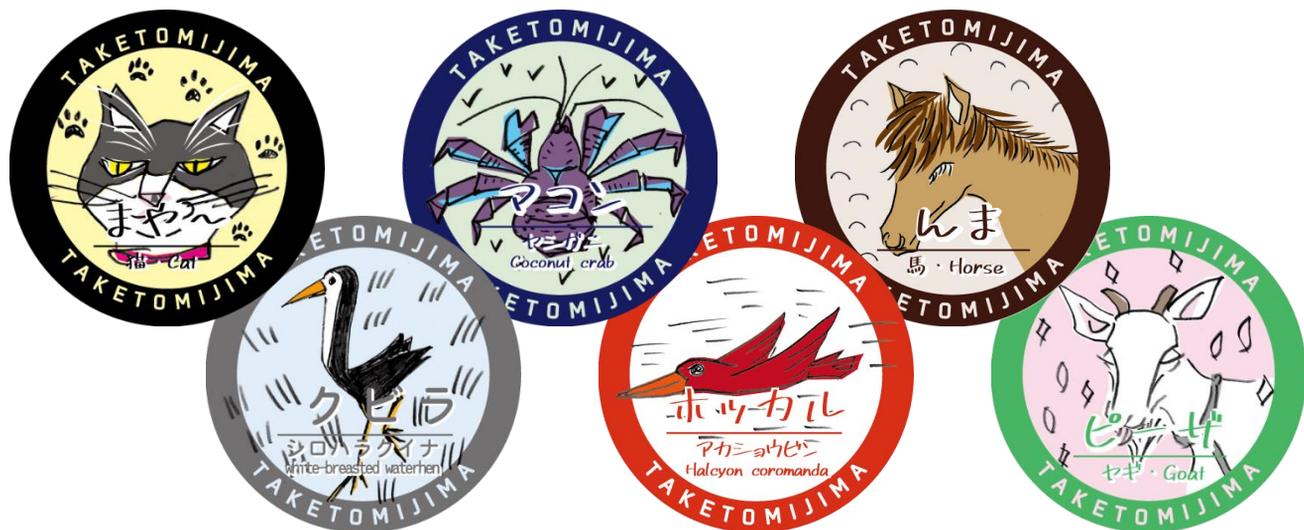
氏神様へ 五穀豊稔の感謝 「豊年祭」	希少生物や植物を 確認して記録する 島の生態系調査	ミルク様への 感謝・祈願 「七夕願い」	島守りの神である 西條様へ 五穀豊稔の感謝 「西遊はんはじり」	ご先祖様や 故人の供養 「ショウロ」	竹富島最大の祭祀 種子蒔きの祈願 「種子取祭」
地域住民も参加 「竹富小中学校 大運動会」	ゴミの分別や ペダリの減容等 ゴミ問題の解決	「秋分清掃検査」 家の敷地と 道の清掃	フタキなどを 利用した 防風林の植林	大池を埋め 井戸へ感謝 「節祭」	「秋季清掃検査」 家の敷地と 道の清掃
葉の出穂へ感謝 「四月祭」	大池の歴史を物語る カー(井戸)の 適正管理	「秋季清掃検査」 家の敷地と 道の清掃	小豆の種まきや 島大蔵の収穫等 耕作放棄地の再生	一年の願いを聞く 感謝祭 「結願」	「秋季清掃検査」 家の敷地と 道の清掃
		敬老員を敬い 慰安する会 「敬老会」		「秋季清掃検査」 家の敷地と 道の清掃	竹富島最大の祭祀 種子蒔きの祈願 「種子取祭」

GOAL
そしてまた新しい
竹富島の一年が
はじまります

- 全島民参加型
「定期総会」
- 島の子どもと
伝統づくり等
自然と文化の
伝承者育成
- 全ての草葉へ感謝
「二月祭」
- 97歳・88歳
生年のお祝い
「米寿・生年
合同祝賀会」
- 大蔵のように
作物生長の祈願
「どぶズマ」

Public Relations

入域料返礼品



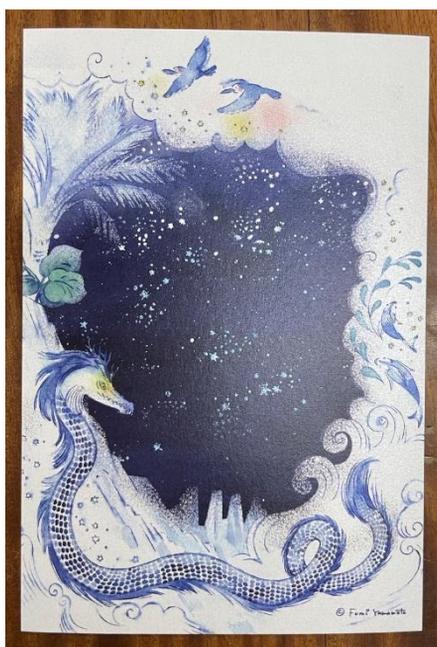
New竹富島方言ステッカー（2024.1.28～）



Kotokotoポストカード（2024.3.1～）

Public Relations

入域料返礼品



「星砂の話」ポストカード

「星砂の話」しおり

「星砂の話」ブックカバー

※「星砂の話」展ノベルティ余剰分を流用（ご寄付）



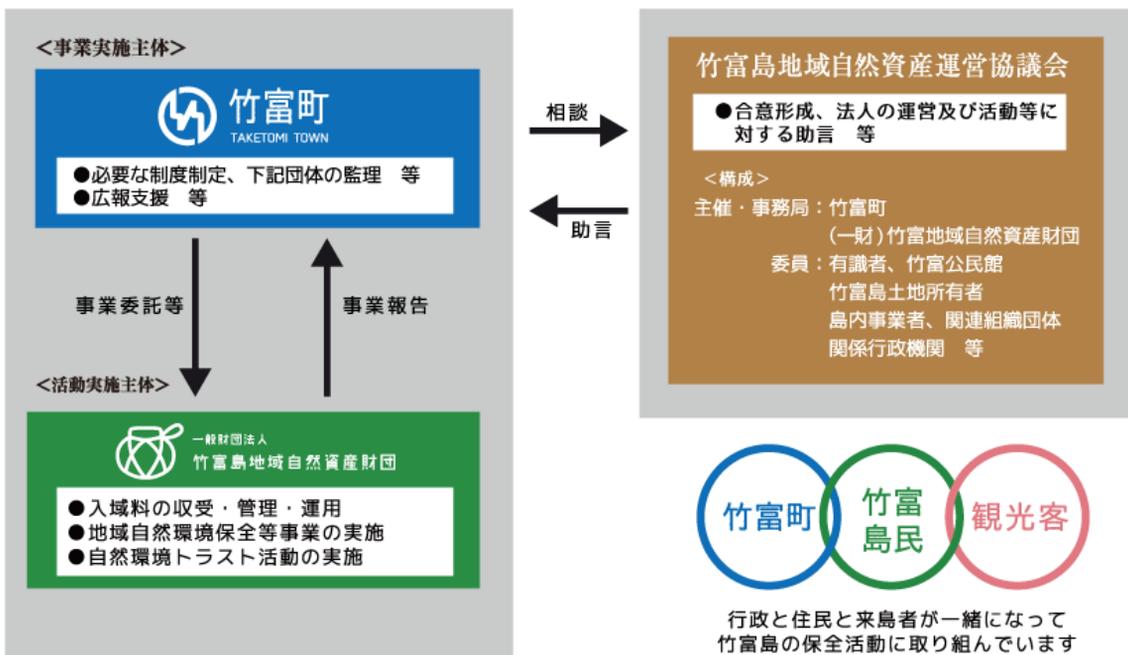
竹富島缶バッジ（2024.3.1～）

※NEC竹富島周遊イベントノベルティ余剰分を流用（ご寄付）

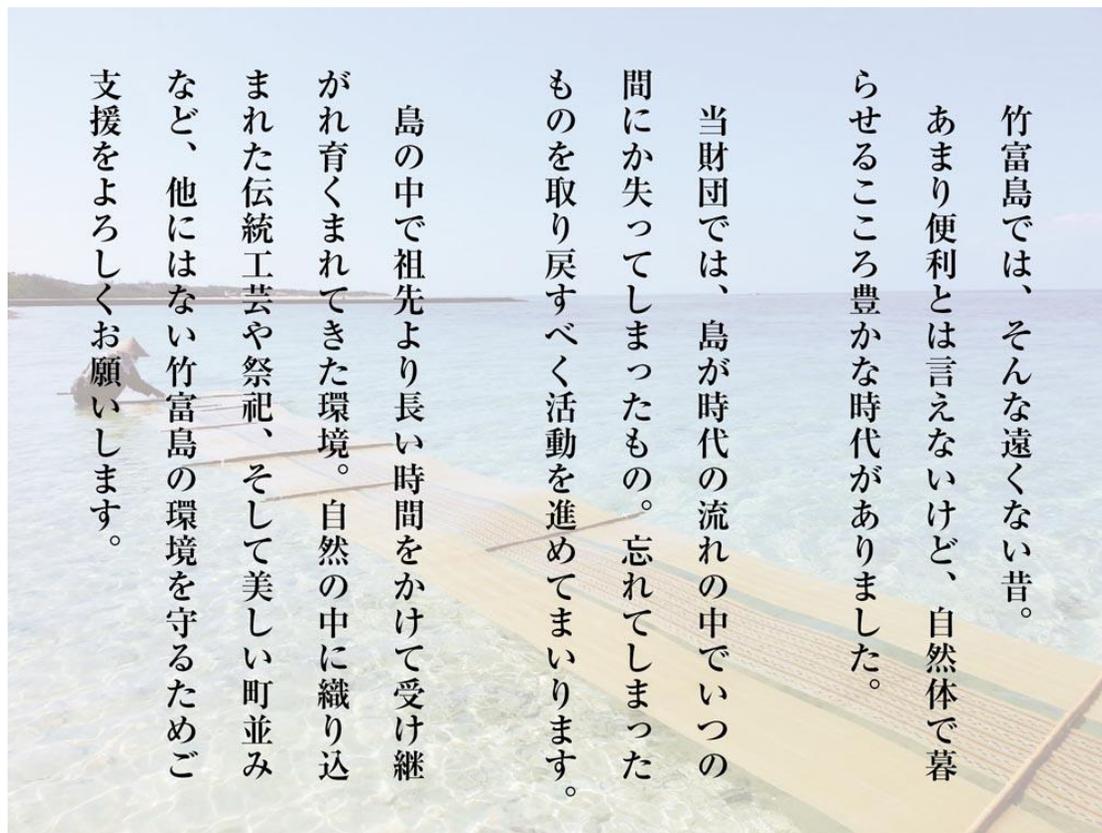
組織概要

名称	一般財団法人 竹富島地域自然資産財団
設立	2019年5月30日
所在地	〒907-1101 沖縄県八重山郡竹富町竹富207-1
目的	この法人は、『竹富島憲章』を遵守し、竹富島地域自然資産保全区域における自然環境の保全及び持続可能な利用の推進のために活動し、島民の心身の健全な発達及び自然環境と文化の保全に寄与し、地域社会へ貢献することを目的とする。
役員	<ul style="list-style-type: none">● 理事長：上勢頭 篤● 常務理事：市瀬 健治 / 水野 景敬● 理事：井上 寛文 / 上勢頭 輝 / 上勢頭 巧 上勢頭 立人 / 内盛 正基 / 大浜 信一郎 前本 由貴子● 評議員：内盛 正聖 / 内盛 良枝 / 大山 榮一 島仲 彌喜 / 野原 健● 監事：阿佐伊 拓 / 大 政司

※50音順



Donation



竹富島の環境保全活動のために 寄付をお願いします

寄付の方法

下記申し込みフォームまたは、寄付申込書でお申し込み後、当財団指定の銀行までお振込をお願いいたします

寄付申し込みフォーム

<https://taketomijima.okinawa/dons/donsform>

FAXまたは郵送での申し込み

<https://taketomijima.okinawa/wp/media/format.pdf>

お支払い方法

銀行名 琉球銀行 支店名 [店番号] 八重山支店 [703]

口座種別 / 口座番号 普通預金 / 1020723

口座名義

ザイ) タケトミジマチキシゼンシサンザイダン
一般財団法人 竹富島地域自然資産財団

竹富島地域自然資産財団

